

電子計算機用プログラミング第13回シンポジウム日程

1月11日(火) 11:00～12:15 Session A

- ①山内委員長あいさつ(11:00～11:10)
- ②中杉 浩(東洋エンジニアリング): プラント設計とシミュレーション(11:10～12:15)

13:30～18:00 Session B

- ①竹腰重徳(日本IBM): ラボラトリ・シミュレーション・システム(13:30～14:00)
- ②佐藤昭治, 勝枝嶺雄, 氏家一彬(日立中研): 電子回路の動作シミュレーション
(14:00～14:30)
- ③金沢正憲, 萩原 宏(京大工), 北川 一(京大大型計算機センター): 計算機システムのシミュレーションとその効率について(14:30～15:00)
- ④原田紀夫, 久保秀士, 三上 徹(日電中研): システム・シミュレーションの1解法とその応用例(15:00～15:30)
- ⑤休憩(15:30～15:50)
- ⑥山本喜一(慶大情科研): KSIM-統計値の自動収集を考えたシミュレーション言語-
(15:50～16:20)
- ⑦矢田光治, 田中 隆(電総研), 平塚尙一(東京都工技セ), 国岡利行(理科大): ファンクションキーによる会話型デジタルシミュレーション(16:20～16:50)
- ⑧山本欣子, 松本青樹, 立花英理子, 小沢友則(情発センター): オンライン・シミュレータSIMBOL(16:50～17:20)
- ⑨権藤彌栄(日本IBM): 理論シミュレータへのLPの応用(17:20～17:40)
- ⑩田村栄悦(日本IBM): 粒子モデルによるプラズマ・シミュレーション(17:40～18:00)

19:30～21:00 Session C

- ①高瀬啓元, 堀越清視, 平野隆久(鹿島建設): COMによるアニメーション-地震応答シミュレーション結果の表示-(19:30～21:00)

<自由討論>

1月12日(水) 9:00～12:00 Session D

- ①首藤 勝(三菱電機): 工業用計算機言語の開発と標準化の動向(9:00～10:10)
- ②休憩(10:10～10:40)
- ③田中 明(日電), 淵 一博(電総研): システム制御シンポジウム報告(10:40～11:30)
- ④一松 信(京大数理解析研), 石田晴久(東大大型計算機センター): 情報公害シンポジウム報告(11:30～12:00)

13:30～18:00 Session E

- ①出羽 洋, 山本欣子(情発センター): 最近のグラフィック言語(13:30～14:15)
- ②守屋慎次(東京電機大), 山本和彦(電総研), 間野浩太郎(青学大): LADD: 描図用言語とそのデータ構造について(14:15～14:45)
- ③守屋慎次, 平松啓二(東京電機大): 表言語の提案-汎用二次元プログラミング言語とその変換アルゴリズムについて-(14:40～15:15)
- ④休憩(15:15～15:45)
- ⑤片山卓也, 日比野靖, 榎本 肇(東工大): 論理関係処理言語LORELのコンパイラの構成(15:45～16:15)
- ⑥金山 裕(電通大): 算語言語REAL(16:15～16:45)
- ⑦石田晴久, 長谷部紀元, 野元征子(東大大型計算機センター): グループ管理用モニタ
(16:45～17:15)
- ⑧森口繁一(東工大): 教育実習用ミニコンピュータのコンパイラ開発コントロールについて
(17:15～18:00)

19:30～21:00 <自由討論>

1月13日(木) 9:00～12:00 Session F

- ①久保隆重, 新井全勝, 高橋 栄, 今井和子, 高橋延匡(日立中研): 分散制御型インテリジェント・ターミナル・システム: HILIGHTの概要(9:00～9:30)
- ②榎本 肇, 堂下修司, 村上孝也(東工大工): スカラ空間の特徴とその性質(9:30～10:00)
- ③中島勝也(早大理工), 高橋茂樹(産能短大): 高精度整数により丸め誤差なしで連立1次方程式をとくFORTRANプログラム(10:00～10:30)
- ④休 憩(10:30～10:50)
- ⑤戸田英雄, 高山文雄(ETL): 最良近似の資料(10:50～11:20)
- ⑥小林佑光, 長谷部紀元, 井森正敏, 大保信夫, 国井利泰, 高橋秀俊(東大理): 入出力割込機能を有するミニコン・システムのシミュレーション(11:20～11:50)
- ⑦山内委員長: 閉会のあいさつ(11:50～12:00)

本 PDF ファイルは 1972 年発行の「第 13 回プログラミング・シンポジウム報告集」をスキャンし、項目ごとに整理して、情報処理学会電子図書館「情報学広場」に掲載するものです。

この出版物は情報処理学会への著作権譲渡がなされていませんが、情報処理学会公式 Web サイトの https://www.ipsj.or.jp/topics/Past_reports.html に下記「過去のプログラミング・シンポジウム報告集の利用許諾について」を掲載して、権利者の検索をおこないました。そのうえで同意をいただいたもの、お申し出のなかったものを掲載しています。

過去のプログラミング・シンポジウム報告集の利用許諾について

情報処理学会発行の出版物著作権は平成 12 年から情報処理学会著作権規程に従い、学会に帰属することになっています。

プログラミング・シンポジウムの報告集は、情報処理学会と設立の事情が異なるため、この改訂がシンポジウム内部で徹底しておらず、情報処理学会の他の出版物が情報学広場 (=情報処理学会電子図書館) で公開されているにも拘らず、古い報告集には公開されていないものが少からずありました。

プログラミング・シンポジウムは昭和 59 年に情報処理学会の一部門になりましたが、それ以前の報告集も含め、この度学会の他の出版物と同様の扱いにしたいと考えます。過去のすべての報告集の論文について、著作権者（論文を執筆された故人の相続人）を探し出して利用許諾に関する同意を頂くことは困難ですので、一定期間の権利者検索の努力をしたうえで、著作権者が見つからない場合も論文を情報学広場に掲載させていただきたいと思います。その後、著作権者が発見され、情報学広場への掲載の継続に同意が得られなかった場合には、当該論文については、掲載を停止致します。

この措置にご意見のある方は、プログラミング・シンポジウムの辻尚史運営委員長 (tsuji@math.s.chiba-u.ac.jp) までお申し出ください。

加えて、著作権者について情報をお持ちの方は事務局まで情報をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

期間：2020 年 12 月 18 日～2021 年 3 月 19 日

掲載日：2020 年 12 月 18 日

プログラミング・シンポジウム委員会

情報処理学会著作権規程

<https://www.ipsj.or.jp/copyright/ronbun/copyright.html>